

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画											
計画の名称	“ふじのくに”地震に備える公園整備(重点計画)										
計画の期間	令和2年度～令和2年度				交付対象	静岡県					
計画の目標	発生が懸念される東海地震や東南海の三連動地震などによる災害から県民の命を守るため、特定天井の耐震化を実施する。なお、当該公園は県の防災拠点として指定されている。										
計画の成果目標(定量的指標)	・県営都市公園における特定天井実施率を100%とする。天井の耐震化により、地震発生時の利用者の安全を確保するとともに、地震発生後には袋井市の指定避難所として使用が可能となる。										
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値			備考
								当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (H末)	最終目標値 (R2末)	
①	特定天井対策実施率(%) 改修済み施設/既存不適格施設(既存不適格施設:2施設、うち改修済み:1施設)							50%		100%	
②											
③											
全体事業費	合計(A+B+C)	1,094百万円	A	1,094百万円	B		C	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)			
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考	
公園		都市公園事業(小笠山総合運動公園)			静岡アリーナ特定天井改修			袋井市	460		
事業数		都市公園事業(小笠山総合運動公園)(5ヵ年防公)			災害時に広域防災拠点となる防災公園整備(静岡アリーナ特定天井改修)			袋井市	634		
2											
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)											
計画の移行なし	○	2	△		-		備考	計画の移行あり	●	▲	
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況											
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		当該事業により、県営都市公園における特定天井対策が完了し、地震発生時の利用者の安全を確保することができた。									
II 定量的指標の達成状況	指標①(特定天井対策実施率(%))	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	—						
		最終実績値	100%								
	指標②()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値									
	指標③()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		最終実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況		小笠山総合運動公園静岡アリーナは、袋井市の指定避難所となっており、災害時に避難する人の安全も確保された。									
4. 今後の方針等											
公園利用者の目線にたって、安心・安全な施設整備を進めていく。											